

学校教育目標

「する自分」となり「在りたい自分」と「在りたい未来」を創造する子の育成
～さわやかに しなやかに すこやかに～

- する自分・・・ 学習や生活の主体者として、自分で自分の行動を判断し、実践する。自身の選択・行動によってもたらされる結果に責任を持つ。
- 在りたい自分・・・ 自分らしく過ごす、ありのままの自分を大切に。自分自身と向き合い、自分の中にある価値観に基づいて、評価・判断し、それぞれの幸福感につなげ、自分のよさや可能性を認識する。どんな時でも常にどう在りたいか、という意識を持って、自分と向き合う。
- 在りたい未来・・・ 子どもたち一人一人がめざす理想の自己、学級、学校、地域、社会になる。自分だけではなく、他者と協力・協働しながら理想の実現に向けた課題を発見・解決し、新たな価値を創造していく。

《めざす児童像》

- ・ する自分となり、自ら学び考え行動する子
- ・ 何事にも挑戦する子
- ・ 自分ごとでふるさとを愛する子
- ・ 仲間とともに高めあうことができる子
- ・ 粘り強く努力しやり抜く子
- ・ 心と体を進んで鍛えようとする子

《めざす学校像》

- ・ 子どもも教師もひとつ上の自分をめざす学校
- ・ 家庭・地域と願いを共有し共育していく学校
- ・ 常に整い、安全・安心な学校

《めざす教師像》

- ・ 子どもに寄り添い、子どもの良さを伸ばす教師
- ・ チームを大切に、失敗を価値づける教師
(学びに文脈を創ることを大切にする)
- ・ ワークライフバランスのとれた教師

さわやかに（こころの力）

- 1 人権教育と道徳教育の充実
 - ・ 他者や自己との対話により深める道徳
- 2 児童会活動、縦割り活動の充実
- 3 キャリア教育の推進
- 4 ふるさと教育の推進
 - ・ 体験活動、地域のヒト、モノ、コトの活用
- 5 実践的な防災教育の推進
- 6 演劇ワークショップ、コミュニケーション授業等による非認知能力の向上

しなやかに（あたまの力）

- 1 確かな学力を育む
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - ・ 「5つの徹底継続事項」の質の向上
 - ・ 特別支援教育の質の向上
- 2 ICTを活用した効果的な学習活動の推進
- 3 読書活動の習慣化
 - ・ 読書の量、質の向上
- 4 校内研修の充実

すこやかに（からだの力）

- 1 基礎体力づくりの充実
 - ・ 体力づくりの日常化
- 2 体育授業の充実
 - ・ 豊岡市版準備運動の実施
- 3 健康教育の推進
 - ・ 食育、眠育
 - ・ 家庭と連携した基本的生活習慣の確立
- 4 感染症予防の継続

非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）の向上

《学校経営の実践理念》

- 子どもを主体者とし、自分創りを支えるために、徹底して寄り添い、褒める。(価値付ける)
- 子どもの悲しみ苦しみがわかる。(声なき声を聞く) 子どもの良さや努力に感動する。(ともに喜び)
 - 一人一人の発達課題に寄り添い、行動を意味付け、子どもの成長を自分ごととする。
 - 自ら求め学び、教育(わかりやすさ)の探究と実践を続ける。(子どもの事実から学ぶ)
 - 学びにストーリーを創り、現実社会に結びつける。(開かれた教育課程)
 - 自分ごととしての捉えによる、実践を心理的安全性のある協働体制の中で取り組む。(ウェルビーイング)
 - 校訓「～明るく 強く 睦まじく～」を大切にするとともに、保護者、地域と連携、協働した学校を創る。
(コミュニティースクール)